暑中お見舞い
申し上げます？
~~2002SUMMER~~ Liar-soft
2003 SPRING

HAPPY NEW YEAR
2002
ホンネンモヨロシク
LIAR-SOFT FANCLUB

HAPPY
NEW
YEAR
2003
旧正月も過ぎましたが
あけましておめでとうございます

INDEX

SEASONLY LIARMARU

COVERGIRL
因幡(いなば)うさぎ

もうすぐ楽しい異教の祭。独りで過ごす寂しんぼに朗報！　北側の窓の鍵を開けて待ってな。私が夜中にお邪魔しちゃうぞ。財布はテーブルの上に出しとけ。朝起きて何か無くなってても気にするな！

腐り姫

女三人ぶらり旅“とうかんもり”探訪記

■歴代３ヒロイン（やや誇張）『とうかんもり』に着く

ガッタンゴットンガタゴトガッタン……と、風情あふれる音をたてて、ＪＲ北毛線稲荷杜～とうかんもり～駅のホームに、単線２両編成の赤い電車が入ってくる。手動スイッチ付きの扉から、地元色いっぱいなおじちゃんおばちゃん高校生がぞろぞろと吐き出されるなか、あきらかに、ほかの乗客とは毛色のちがう三人の少女が降り立った。

由紀「うわ～寒いね～」
あゆみ「うん。息が真っ白！」
アルマ「心地よいです」
あゆみ「……寒いと思うんだけど。初冬の関東北部山間部って、絶対もう雪降ってるよ？」
アルマ「ええ。ですから心地よい寒さですねと」
あゆみ「そっか、スウェーデン育ちだっけ」
由紀「ふぃ～、東京から電車で３時間……のはずだったんだけど」
あゆみ「ずいぶんかかったよねえ。乗り換えの時にあんなに待たされるなんて思わなかったよ」

アルマ「仕方がないですわ。車掌さんが寝坊されてしまったのですから」
由紀「そういうのって、日本の公共機関では許されないと思うんだけど」
あゆみ「やっぱり外国だと、そういうトコおおらかなのかなあ」
アルマ「労働者にミスはつきものなんです。そうしたミスが、また雇用を新たな生み出すとお父様も……」
由紀「さ、さあ行こっか！」

■登場。ガイドは夏生おねえさん

夏生「ようこそ、いらっしゃいませ。とうかんもりへ！」
由紀「やっぱり湖とか自然を見てまわったあとに、お昼を食べるとして」
あゆみ「午後はゆっくり町の中を観光かなあ」
アルマ「あら。ご丁寧なお出迎え、どうもご苦労様です」
あゆみ「あ!?　アルマさんがひっかかっちゃった！」
由紀「ダメだってば！　旅先でそういう怪しげな勧誘に立ち止まっちゃ」
夏生「ちょっと待てーい！　私はニューヨークの暴力タクシーか？　マカオの闇ガイドか!?」
由紀「そんなこと言っても買いません」
夏生「ちがうってのに！　この洒落っ気のない制服見なさいって。こんなの銀行員でなけりゃ、公務員しかないでしょ。公務員といったらあなた、観光客に尽くして尽くして、気分よくこの町を楽しんでもらおうと考えるのは、ごく自然なことじゃない」
アルマ「そうですわ。公務員の方々でしたら、高額納税者に奉仕したり、便宜をはかったりするのは義務なんですもの」

夏生「……もしかしてこの子、イヤなキャラ？」
由紀「だんだんそうかも、とか思ってきてます」
あゆみ「目下のところは天然で押してます」
夏生「イイ。天然だろうがなんだろうが、お客様は神様なわけだし。観光地なんて、ふら～っと寄った客から、どれだけ搾り取れるかが勝負なんだし」
あゆみ「そうすると今回、あたしと由紀さんって勘定に入っていません？」
夏生「あなた達に、あんまり期待してないのは確かだけど」
由紀「ああ、正直者!?」
アルマ「天然は地球に優しいですよねえ」

■そろそろまじめに観光開始。まずは枯尾沼

夏生「右手をごらんくださいませ。とうかんもりのシンボルともいえる、枯尾沼（こびぬま）で～す」
アルマ「あの、地図では上奥湖となっているんですが……」
夏生「そんな地図は燃しなさい。ボワッと。地元民はだあれもそんな名前で呼んでないし、役場で出してる観光ガイドからして枯尾沼！　こっちのが雰囲気あるでしょ？」

あゆみ「“沼”ってあまりイメージが……どんよりしてるみたいで」

夏生「甘い。そりゃ１０代の発想ね。湖って言えば、ダムつけてボート浮かべて終わりだけど、ここはひと味ちがうの。朝靄のかかる湖畔の幻想的な光景、湿原に咲き乱れる四季折々の花、根を水に沈めた立木のどこか寂寥とした姿……。こうしたまさに観光向けなイメージをひっくるめるには、沼って云うしかないわけ」

由紀「そんなみえみえな……」

夏生「今のはささやかな本音として“枯尾沼”がこの土地本来の名前なの。上奥湖なんて、地図見てお役人が決めたわけだから、ぜーんぜん根づかなくって」

あゆみ「わかりました。けど、先に聞かされた利用がドギツくて、もうこの光景が綺麗に見えない……」

夏生「ダメよ？　若いんだから、もっと綺麗でピュアなココロで風景を見なくちゃ」

由紀「あなたがきれいじゃなくしたんです！」

■獣のとおる獣道……じゃない。とうかんもり周遊ロード

夏生「沼ときたら山！　枯尾沼を一周する『とうかんもり周遊ロード』で自然を満喫しましょ」

由紀「周遊ロードって……舗装されてるのは町の中だけ……」

あゆみ「山に入ったら獣道だよう～」

夏生「そりゃそうよ。自然を満喫してもらうためですから。ま、舗装して道つけてやんなきゃならないほど予算もないし、ゼネコンに義理もないし」

由紀「あなた、ほんとに公務員!?」

あゆみ「わざわざ裏側まで教えてくれなくてもいいのに……」

アルマ「でも、なかなかよい樹がそろってますわ」

謎のじじい「樹を切っちゃなんねぇぇ！」

あゆみ「うわあああっ！　びっくりしたよお～」

由紀「あ、あれはなんなんですか!?」

夏生「あー、気にしない気にしない、山に住む原住民だから。こっちに危害を加えてくることはないわよ」

あゆみ「でででも！　ナタ振り回してましたよ!?」

柚木椋助さん（54・自由業）「山の樹を切ったら、祟りがあるぞぉぉ！」

由紀「環境保護団体の方ですか？」

夏生「そんなの雇った憶えないけど」

アルマ「まぁ……自然というのは、伐採と植樹を計画的に繰り返してこそ、保たれるものですのに」

あゆみ「は？」

アルマ「原生林のままでは、伐採してしまえばお終いですもの。その後に、きちんと杉、モミ、松などを植樹して、自然とは長い視点でお付き合いしなくては」

夏生「微妙に意見があいそうね」

由紀「あわせないでください」

■午後の観光。昼食は地元民お薦めの店で

夏生「んで、周遊ロードは本気で一周すると半日以上かかるので、このへんで町の方にもどりましょ」

あゆみ「確かに、あのまま歩いていったら……」

由紀「絶対、遭難しそう……」

夏生「しても大丈夫よ。熊が出るのも、一年半も先の話だし」

由紀「……時空が……」

夏生「ハイ、気にしないで戻りましょ。さって、午後は町ん中を見てまわるとして、その前にお昼にしましょ。昼食はこちら。グリル『ぎとぎと』」

由紀「やな名前……」

夏生「味は大丈夫よ」

あゆみ「お店、きたなさそう……」

夏生「それも大丈夫。私もよく使ってる店だし。パスタ、ハンバーグ、ドリアにリゾット。美味しくおトクにいただけます」

由紀「郷土料理とか薦めないんですか？」

夏生「あるにはあるけど。雑穀料理とか。わらび餅とか。でも若い子が昼間っからアワだのヒエだのって食べたい？　君たちいくつ？」

由紀「えーと……」

夏生「というわけで３名様ご案内～」

三つ編みおさげ眼鏡のオーナー「ああ、いらっしゃい」
由紀「けーこちゃん!?」
あゆみ「おねえちゃん!?」
アルマ「まあ、学園長」
夏生「やーなんだか世界の秘密に触れた感じ」
けーこちゃん「あっさり流すね、あんたも」

■裏切りの町内観光。鎮座まします斗祢（とね）神社

アルマ「まあ……」
由紀「わー……」
あゆみ「すごーい……」
夏生「なかなか壮観っしょ。駅のある市街から、山側をのぞめばご覧の通り。傾斜にへばりつく、家々や蔵、陶芸工房の煙突。この旧き町並みと、幾重にも連なる坂道こそが、観光の目玉と云っても過言ではございません。じゃ、山頂まで登ってみようか」
由紀・あゆみ・アルマ「え!?」
由紀「山頂って!?　午後は町内観光って……」
あゆみ「登るって、どどこのどこまで!?」
夏生「だから町内。ちょっとはずれだけど。ホラ、あそこのてっぺんに鳥居が見えるでしょ。やっぱ一度はお参りに行っとかないとね？」
由紀「あ、あそこまで……」
あゆみ「ど、どのくらいあるの？」
夏生「高低差で３００ｍくらい。歩いていくと１時間かな？」
アルマ「では、私は駕篭（かご）を使わせてもらいます」
由紀「あ、わたしも……って高い!?」
あゆみ「一時間で３０００円もするの!?」
夏生「肉体労働者二人分の時給だからね。じゃ、しゅっぱーつ！」
由紀・あゆみ「ひ～!!」

……１時間半後……

由紀「着…ついた……」
夏生「は～い、こちらが斗祢神社です。幅広い御利益を約束してくれるそうですが、専門はどのへんなんでしょう、神主さん」
斗祢神社１１５代目　富竹順嗣さん（44・宗教法人代表）「表向きは五穀豊穣豊穣と水神鎮撫だねぇ」
由紀「お、表向きって……？」
神主「はっはっは。まあ頼まれれば何でも祈ったり祓ったり呪ったりするねぇ。なんせ小さい町の神社だからねぇ」
あゆみ「な、なんだか怖いよ？」
アルマ「オリエンタルマジックですわね」
夏生「というわけで、お願い事は無制限なので、それぞれお賽銭の準備はいいかな？　はーい、投げてぇ、祈ってぇ、じゃ撤収準備～」
由紀「もう降りるの？　この坂道を？」
あゆみ「えう～」

■２名力尽きリタイア。投げっぱなしでツアー終了

夏生「はい、ふもとに到着～」
アルマ「屋敷。町を流れる水路。素晴らしい景色を堪能できました」
由紀「ぜーぜー」
あゆみ「はぁはぁ」
アルマ「お二人ともお疲れですわね」
夏生「若いのにだらしないぞ」
由紀「夏生……さんは自転車……だもん……ず、ずるい……」
夏生「ちゃんと自分で押して登ったけど？」
あゆみ「基礎体力からちがう……」
アルマ「まあ、持久力がおありですのね」
夏生「こういうとこ住んでるとねー。さ、ゆっくり町を観光しましょ。江戸時代より、とうかんもりといえば陶器！　焼き物！　枯尾焼き！　町内は窯元がしのぎを削っています」
アルマ「まあゴツゴツざらざらと……素朴な風合いですのね」
夏生「マイセンとかと比べないよーに。あっちは磁器で、こっちは陶器。おまけに、頑固に釉薬を使わないので、ほんとに自然味たっぷりすぎて。詳しい専門用語は自分で調べてみよう！　開祖と呼ばれる山鹿の窯は、現在、後継者不在で途絶えています。でもって、その後がまを狙って、現在、緒流緒派が抗争を繰り広げているのが現状」
アルマ「切磋琢磨なさっているのですね」
夏生「茶碗ぶつけあってね。さて、とうかんもりの見所っていえば、

あとは廃鉱の廃アパート群なんだけど……なんかアルマさん以外の二人は、疲れ果ててるみたいね」
アルマ「まあ、お二人とも……はしゃぎすぎたのでしょうか」
由紀「……返事できない……」
あゆみ「……あたし達は屍です……」
夏生「お疲れね。今夜はゆっくり温泉で、と言いたいけど、ここって温泉はないんだな。アハハハ」
アルマ「日本の観光地にはつきものなのでは？」
夏生「掘っても出なかったんだって。基本的にね、とうかんもりって、自然に手をつけたがらないのよ。そのままの湖、手つかずの山。枯尾焼きだって土焼いたままだし」
アルマ「まあ。それでは鉱山は？」
夏生「うっ。高度成長の波の前には、環境への配慮なんて」
由紀「もう、そゆのいいから、旅館行きたい」
あゆみ「というより帰りたい……」
夏生「あらあら、仮にもホラーを名乗るこのゲームで、旅行客がこのまま　帰れると思って？」
由紀「え？」
あゆみ「へ？」
アルマ「あら」
夏生「もうＪＲ線のトンネルとか崩れてちゃったりして。道路は土砂崩れで、橋は落ちてるわけ。そして、ほら……！」
蔵女「また、逢うたな」
由紀・あゆみ・アルマ
「キャーッ！」

終

女三人ぶらり旅。次回は『珍味の旅、韮沢・レイチェル・明石の怪傑熟女編』です。お楽しみに！
（うそ）

「発酵の美少女・
蔵女ちゃんの巻」
『腐り姫』は、ＧＯが出されながらも、ある事情（例：金がない）により中止となった企画から、ゲームの構成案だけが浮上してきたもの。で、これが実際に形になるのか？　作業に必要なものは？　ユーザーはどう反応する？　そんな感触を得るための実験作。「実験」だなんて外聞も悪いが、その通りだから始末が悪い。いわゆるアレだよ開き直った。だけどこの作品にもオリジナリティがある。「ネガティブを肯定する」それが第一目標。コメディに定評を頂戴する（と勘違いな（謙遜））ライアーとしては、シリアスにもこだわりがある。本当。思うに、わざわざシリアスに見せようとすることくらい馬鹿馬鹿しいことも無いわけで。喜劇を演じる連中は、決してふざけてなんかいないのだ。嘘。メメント・モリ！
ぶほッ　【めておう】

前号の訂正：
きりこ・後輩→同期生
ついでに電撃姫『とうかんもり奇譚』も訂正：
第一夜「上野の国、下野の国、陸前の国の交わるところ」→「上野の国、下野の国、陸奥の国（あるいは陸奥岩代）の交わるところ」
――――でした。ゴメン。

常磐愛「緊急報告ぅ！　伊豆熱川近辺の小学校に、ぶるまーの生き残り反応アリ、ピキーン！」
ドクターブルマ「けど悔しいことに幼稚園では短パンなのよぉっ！　ああぷにぷにの足が、園児のぷにぷにの生足があぁぁっ！」
愛「園児に『生足』言うなや。それにしても先生ってロリコンの人だっけか？」
ＤＢ「ううん違うわよ。でもあのゴムマリみたいな身体とブルマって、マッチすると思うのよ。思わない？　思うよね？」
愛「知らーん。しかし相変わらず、はじめにブルマありきですな」
ＤＢ「ブルマに始まりブルマに終わる。これブルマ道の神髄なり！　……ところで橘さんは？」
愛「アゥチ、聞いてよティーチャー！　あゆみは『とうかんもり』とかいう田舎町に、ぶらり途中下車の旅らしいっス。庶民らしい国内旅行を満喫ですか！？　あたしも連れてけ！　これでも暇なんじゃ～いっ！」
ＤＢ「橘さんがいなくなると、他に友達いないもんねぇ、愛って」
愛「うっ……いやまあ、他のは友達と呼ぶには世間的にはばかられる特殊指定人物ばかりなので……」

ぶるまー２０００、２００１年１１月２０日をもって、出荷終了

愛「ま、そーいうことなんス」
ＤＢ「なに、その投げやりさは？」
愛「だーってさー、これでぶるまー２０００も鬼籍入りダスよ！？　忘れ去られる3秒前！？　つーか、もうどこに注文してもあの破廉恥な箱絵は見られませんぞ！」
ＤＢ「この業界って、サイクル早いから。これも時流というものなのかしら…」
愛「嘆願書出そう、嘆願書！　『ぶるまー２０００をなくさないでください、なくなるとさみしくてご飯ものどを通りません』とか、どっかの小学生女児のフリしてさ。だいじょぶ、統計によるとライアースタッフの６０％はロリコンだから、これで心が動かないはずがない！」
牧野つばさ「……元気だねえ」
葛西つとむ「初めのうちだけだよ、初めだけ。……そのうち騒ぐ元気もなくなってきて、うるさい口も休むときが来るさ。そういうものだ」
愛「あ、あんたたちはっ……！」
つとむ「ふっ」
愛「……誰？」
つとむ「覚えてないんかいコラァっ！　ライアーソフト記念すべき第一弾作品『ちょ～イタ』の主人公、つとむ様だぞ！？」
ＤＢ「ほら、ぶるまー２０００にもゲスト出演してたじゃない。どっかのエンディングで、スパッツキンノー党の話になった時……」
愛「あー、あー、思い出した、思い出した。そういや敵に捕まってたよね、あんた。タマランチんとこでも捕まってなかった？」
つばさ「うぐっ……痛いところを」
つとむ「ははは、こいつ一人で突っ込んで返り討ちにあって、洗脳されてたんだ。進歩しない奴だよ」
つばさ「うっさい！」
愛「で、あんたもいたいた。キンノーの……サッチョーくんだっけ？」
つとむ「ぜんぜん違うわっ！　一緒に戦ったのに、覚えてねーじゃねーかっ！」
愛「あたしゃ都合の悪いことは、すぐ忘れちゃうんだよ」
つとむ「俺の記憶は都合悪いんかいっ！」
愛「それは置いといて」
つとむ「置くなっ！」
愛「なんであんたらがここに？」
つとむ「無視かい！」
つばさ「いやー、出荷停止作品どうし腹を割って話し合って、今後の身の振り方とか決めたいなー、なんて思ってきたんだけど」
愛「んで、ぶるまーコーナーに間借り？」
つとむ「せめて合同コーナーと言ってくれ！」
つばさ「じゃなくて『間借り』って言葉を否定しろよ」
ＤＢ「あまりからかっちゃダメよ、愛。この人達はすでに出荷終了したゲームの登場人物。言うなれば鬼籍の先輩なんだから」
つばさ「すごい日本語ですね」
つとむ「鬼籍の先輩なんて言われても、確かにこれっぽっちも嬉しくない。しかし先輩風をふかせて忠告してやろう。この世に形あるものは全ていつか崩れ、人間も死からは免れ得ない」
愛「諸行無常を受け入れて、おとなしく消えろっての？」
つとむ「否！　作品は別だ！　人類が滅んでしまわないかぎり、音楽とすぐれた文化は生き残る！」
ＤＢ「ブルマとか！？」
つとむ「そう、ブルマとか……って、ブルマは文化じゃないだろっ！」
ＤＢ「立派な文化よっ！」
愛「はいはい、その辺の論戦は後にして……で、何だって？　人の心に残ることが、あたしたちの存在した証だと？　それで納得しろってこと？」
つとむ「それも違うっ！」
愛「？　じゃ、何なのさ？」
つとむ「すぐれた作品には、もっと手っ取り早く人の心によみがえる手段がある。それは……続編だっ！」
愛「あ、結局そこへ行き着くわけか」
つとむ「嘆願書出すなら続編希望の方で出そう！　ねえそうしましょ、そうしましょ！？」
つばさ「ううっ、うちの主人公、こんな落ちぶれて……」
ＤＢ「鬼籍はこんなにも人の心を荒ませるのね」
つとむ「忘れられるのは寂しいよ」
愛「あーもー、うっとおしい！」

お便り２番勝負

つばさ「けど現実的に考えて、ちょ～イタやぶるまーの続編ってあり得るのかな？」
ＤＢ「ライアーのスタッフはひねくれ者が多いから。続編なんて安定志向な考え方はしないんじゃないかしら」
つとむ「ぶるまーの続編は、あんま安定志向って感じじゃないぞ。むしろ、またケンカ売る気かコイツら、とかそんな感じ」
愛「褒めんなよ」
つばさ「褒めてない」
つとむ「いや褒めてるんだって」
つばさ「あれ？」
愛「この潜在的に体制へ反抗的な姿勢こそ、ユーザーの心を捉えて離さないぶるまー２０００の魅力なのだよ」
ＤＢ「ああん、ブルマーの魅力よ」
つばさ「単なるバカゲーだと思ってた」
愛「その証拠に、いまだ送られてくるぶるまーファンの投稿を見よ！」

◀こおべ領さん

▶宇宙クラゲさん

つとむ「サフィズムのネタじゃん」
愛「なんとっ！？　それが趣旨ですぞ！　いーんだよあたしら作中でさんざん穿いたものブルマ。穿くだけ穿いた。あとはブルマフェチの心をブルマから離さないよう、こうした小ネタで刺激するのじゃうりゃうりゃ。こうして育ったブルマー愛に富む者は、ぶるまー２０００にも均しき愛を注ぐかも！？」
つとむ「仮定かい！　……しかしこのサフィズムってゲーム、女だらけが前提なもんだから、男の俺には出番がないのだ。おまけシナリオにすら呼んでもらえん」
愛「あたしだって出てない。つーか、出るチャンスを逃したっつーか」
つとむ「おまえは姉がちょっとだけ出てたろ」
愛「あんなもん出たうちに入るかっ！」
ＤＢ「それより、ちょ〜イタのハガキも載せたら？」
つとむ「おおそうだ。つばさ、ハガキ」
つばさ「……ないよ」
つとむ「なにっ！　なくしたのか！？」
つばさ「いや、初めからない」
つとむ「………全然？」
つばさ「…………うん」
・・・・・・・・・・・・・
愛「……なんか、こわひ間が。あれが鬼籍に入った者の末路なのか……」
ＤＢ「明日は我が身なのかも……あぁでもそれより、いま大事なのは、いかにして次の世代へブルマを残すか、だわ」
愛「本物のブルマー問題については、ここであたしらが論議したってねぇ。教育熱心な熱血フェチ教師の活躍に期待しましょーか」

鬼籍の展開

つとむ「仲違いしてる場合じゃない」
愛「どっかで仲違いしてたっけ？」
つとむ「この現状を乗り切るためには、両作品が手を取り合うことが必要だ。『ちょ〜イタ』ファンと『ぶるまー』ファンの力をあわせれば、続編の希望も生まれるに違いない！」
ＤＢ「混ぜちゃうの？」
つとむ「端的な表現だけど、その言い方はどうかと……とにかく、単体作品での続編が無理なら、両作品いっぺんにやればいいんだ！」
愛「ぶるまーはともかく、ちょ〜イタなんかいまのライアーユーザーは知らないんじゃないか？」
つとむ「そんなことない、日高社長だって褒めてたという噂があるんだぞ！」
ＤＢ「それってすごいの？」
つばさ「さあ？」
つとむ「とにかくそーいうことで、企画を考えようじゃないか」
愛「ま、考えるぐらいなら。そーだなー、世界征服ネタはもうやったから……宇宙の果てからやってきた王女と、それを追う帝国軍の宇宙艦隊！　太陽系全土の危機に、新たな神のブルマが発現！　各惑星に対応したブルマ戦士が集う！　……みたいな展開でどう？」
つとむ「……そのネタで、俺やつばさのような弱小エスパーに何をしろと？　俺なんか武器は透視だけだぞ！？」
愛「じゃあ、どういうのがいいわけ？」
つとむ「もうちょっと庶民的な話がいいな。女子寮に夜な夜な出現する連続レイプ犯……とか」
愛「なるほど、すでにその寮は異次元人の侵略を受けていたのだ！　姿無き浸食、世界の危機、立ち向かえるのは神の……」
つとむ「待てーいっ！　それじゃさっきと一緒だろうが！」
愛「なんだね、いいとこなのに」
つとむ「なんですぐ世界の危機とか地球がピンチとか、そういう壮大な話にいくんだ！」
愛「業だよ」
つとむ「もっと身近な場所で、事件で、せせこましい超能力や特殊能力を使ってイタズラ三昧、という展開にはならんのか！？」
愛「つまらん、却下」
つとむ「ななな、なんだとぅ！？」
愛「文句があるかぁ！？」
つとむ「むぐぐぐぐぐぐぐ……」
愛「うぬぬぬぬぬぬぬぬぬ……」
睨みあうこと数分。
つとむ「もういい、お前らとはやっとれん！」
愛「そりゃこっちのセリフじゃい！」

次回のサザエさんは？

つばさ「……あーあ、結局ケンカ別れだよ」
ＤＢ「ふたりとも我が強いから」
つばさ「じゃあ合同企画はこれで終わり、次回はまた、お互いソロでということで……」
ＤＢ「はい、お疲れ様」
つばさ「あのー、どっかのおまけシナリオとかに出番があるようだったら、声かけてください」
ＤＢ「あらあら、そちらこそ」
つばさ「いやそんな」
ＤＢ「いえいえ」
つばさ「あはは」
ＤＢ「おほほ」
つばさ「……やめましょ」
ＤＢ「そうね。あら、でも確かちょ〜イタの誰かさん、ライアーの次回作に登場って話じゃなかった？」
つばさ「あ、清香さん？　うーん、あいつそれが原因で荒んでるみたいなんだよね」
ＤＢ「……なるほど、身近な人間に出番があると、逆に焦るわよねぇ」
つばさ「……はあ」
つとむ「くそーっ、出番さえくれれば、俺だって全裸ぐらいやるぞーっ！」

ユニット活動開始前に解散、次回はいつも通りのソロ活動だ！　さ〜て、来週（？）のサザエさんは「ライアー男性キャラ・ブルマーイラスト特集（読者投稿）」「ちょ〜イタのキャラが語るゲームレビューのススメ」「もう春ですね、次回作は？」の３本です。本気にしないで投稿しろよ！？

はーい、みなさん、こんにちわ。気がつけばすっかり紅葉の季節もぶっちぎり、もはや冬は目前です。前回、３号会報では暑い～うだる～とか言っていましたが、うってかわって毎朝の冷え込みが体にしみるようになってきました。そう、京都は冬は寒いんです。やっぱ、京都行くなら６月か１０月だよ。夏と冬は上級者向けですね。ともあれ、今月も大盤振る舞いに２Ｐ見開き。微にいり細にいり、少ない情報を絞って絞って出し尽くしな感じでお伝えしましょう。どんな情報ももれなくキャッチで、あなたのハートもついでにキャッチ！？　監察方ネットワーク、ごーぁへぇっど～！

おまちちゃん「無駄なハイテンションはあたしとかぶるからやめてほしいな☆」

……ええ、反省してますとも。

祝☆行殺ビジュアルファンブック発売！

おまち「というわけで、ついに発売されましたー！」

会報用記事作成のタイミングでは、無事に書店に並んでいるところを確認できなかったのは残念なのですが……、さきほど、広報さんから「たぶん大丈夫」って太鼓判を押してもらえました。

おまち「それ全然、太鼓判じゃない」

そこはそれ、世の中何が起こるかわかりませんから、とりわけ昨今は。

おまち「なんでも国際情勢と不況のせいにするのってどうかと思うけど」

そういうことはさておいて、立派なＡ４版のムックサイズで全国の書店さんにお目見えです。

おまち「ぜひぜひ、見てください、手にとってください、買ってください！」

見所満載ですから。電撃大王連載コミックスの再録から、イベントＣＧ原画公開、キャラクターファイル、狂気の押し借りクイズ全問掲載など、ゲームを楽しみ尽くすためのページも充実して完備してます。そして、広告に偽り無しな洒落抜き豪華ゲストコーナー！

おまち「確定していくゲストさんのリストが送られてくるたび、ライアー事務所が騒然としてました。思わず踊っちゃうスタッフを多数目撃みたいな」

付属ＣＤ－ＲＯＭもいつの間にやら豪華になってました。アレンジＢＧＭも当初は聞いてなかった話です。

おまち「お値段もいつの間にやらバージョンアップでごめんなさいだけど、損はさせない内容であなたに会いにいきますわ……、っていうか、もうあなたのもとにいるのね、いるはずなのねと、絶賛発売中！」

まだお持ちでないあなたは本屋にＧＯですね！

……さて、ＣＭはここまででいいとして。

おまち「あんまいくない。切り替え早すぎ」

それが時代ですから。

突発座談会 ～劇場版の明日について考える～

土方「というわけで、見出しのとおり、劇場版の明日について考える」

永倉「はーい、トシさん、劇場版ってなんだ？」

土方「つかみにはいい質問だ。原田、答えろ」

原田「えーと、ＢｕｇＢｕｇで『好評』連載中の小説につけられたタイトルよ」

近藤「……なんで劇場版なの？」

土方「うむ、会報３号の記事ではいまいち説明不足だったようだ。沖田、説明しろ」

沖田「……本編以後という設定で、新キャラを出してオリジナルストーリーを転がすところが、まるでアニメ番組が映画になった時の展開によく似てるから、だそうです」

芹沢「……本編以後だと、アタシ、死んでるってことない？」

原田「なんでも、全員のシナリオを平行に池田屋まで進めた状態を想定して、話を作ったらしいわよ」

芹沢「あ～、サフィズムのおまけシナリオみたいに。ほぉ～、島田クンもやるもんねぇ～」

沖田「明らかに、破綻しますよね……」

原田「そのへんは、安易に不条理ギャグにして流してるらしいわよ」

土方「安易すぎる！」

永倉「池田屋以降っていうと、あとは内ゲバやって、鳥羽伏見で負けて、甲府で負けて……」

近藤「みんな散り散りになって……、最後は……」

原田「………………」

沖田「………………」

土方「いや、待て！　池田屋直後、坂本暗殺済みという状態でスタートだ。全員、暗くなるな！」

芹沢「え～？　アタシ別に暗くなってないよ？」

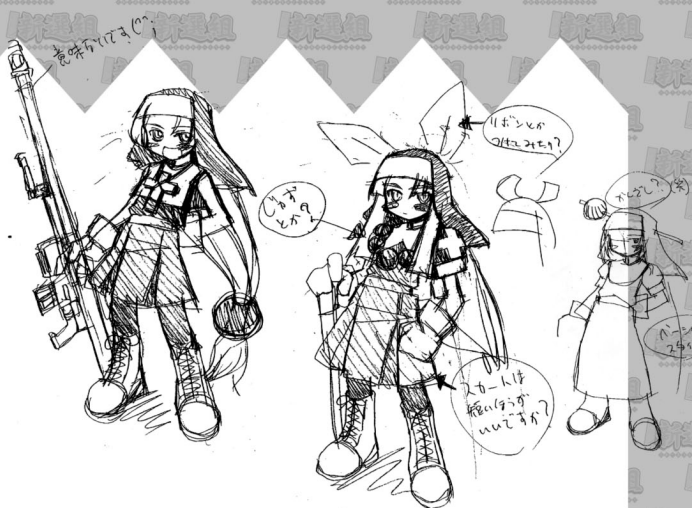
土方「あんたは少し黙ってろ！」

原田「でもさ、なんで、わざわざ本編が終わったあとの話をするわけ？　いっちゃなんだけど、世の中、行殺やった人よりもやったことない人の方が多いのよ？」

近藤「あ、それはね、ＢｕｇＢｕｇの編集さんから、『行殺をやった人が楽しめるものにしちゃっていいですよ』ってお墨付きをもらったんですって」

土方「必ずしも、その発言が好きにしていいということとイコールではないと思うんだが」

沖田「でも、その編集さんからの

提案には、京都に出る前、江戸にいる時のストーリーはどうかっていう提案もあったそうです……」
芹沢「それ、アタシの出番、なくならない？」
土方「全然心配することではないが、島田の出番もないだろう。しかし。これには欠点があった」
永倉「なに？」
土方「Ｈシーンのシチュエーションが、ほとんど近藤と坂本の調教日記になってしまうことだ」
近藤「え……」
土方「陶然とするな！　断じて看過できん。後は、明治十年東京編というのもあった」
永倉「それって、機動……」
土方「永倉、切腹。ともあれ、その設定ではどうやっても近藤が死んでいるので、やはり断念した」
原田「おとなしく、本編のストーリーを追うっていうのは？」
沖田「お墨付きをもらった時点で、勝ち気に火がついて、それはもう考えられなかったそうです……」
土方「ともあれ、こういう経緯で、毎回島田が隊士をとっかえひっかえしつつ、事件が進み、新キャラが出るという展開をとることになったわけだ」
永倉「あの島田が……」
沖田「お兄ちゃんが……」
原田「毎回誰かと……」
近藤「Ｈを……」
芹沢「アタシ、毎回でもしてあげるのにぃ」
土方「島田の処遇については、連載後に断罪するとして、問題は新キャラだ。極秘資料を見ろ。これが今回の敵だ」
永倉「３種類？」
原田「なんでも、尼さん、シスター、舞妓さんをミックスしてというデザインの注文を出したら、八雲先生から、そんなんできるかぁって」
芹沢「あはは～、そりゃそーだ」
土方「しかし、キンノーと判明し

たとあれば、新キャラとて歓迎はできん。全員、残り３回でこの女を叩きつぶせるよう全力を尽くせ！」
一同「おう！」

まっとめ～

……和やかに座談会も終わったところで。
おまち「ちっともじゃない。あたしも小説には言いたいことあったのにぃ」
あれ以上、座談会参加人数増やせませんって。
さって、今回もそろそろまとめましょう。今回はちょっとスペースがなかったのでご紹介できませんが、投稿はガシガシ募集中！　今なら、行殺ノベル読書感想文がレート高めです。

おまち「八雲センセからもごらんのとーりっていうか、みんなほんとに読んでくれてるの？　感想無くて寂しいです、しくしく」

宛先は奥付参照で！　次号のこのコーナーでは、行殺ビジュアルファンブックの賢い１００の使い方を取り扱います！　では、次号のこのコーナーでお会いしましょう！

八雲「小説版の新キャラの彼女、応援しだいでは大活躍もある……かも？（笑）」
睦月「それよりもまず、名前つけなあかんですなー」

ソヨン「アニョ！　ソヨンですよー。サフィズムファンの為だけに送るペーパーラジオがはじまるプルコギー」
杏里「さあ，最初のコーナーは『カミングアウト宣言』だ。みんなのイケナイ告白を鼎教授がバッチリ受けとめてくれるよー」

■鼎教授のカミングアウト宣言■

『諸君、私は触手が好きだ』
「触手ですよ触手。ぬらぬらした触手が少女の清らかな肌にまとわりついて！　襟や袖やスカートの裾から服の下に潜り込んで蠢く！
全身を同時に愛撫されるという、人外の快楽に墜ちていく少女！　最後はもちろん全身全ての穴に大小さまざまな触手をつっこまれ、快楽の果てに狂い死ぬ！　その少女の姿が美しい！！　私は！　触手が！！　好きだー一っ！！！」（PN．へむへむ）

鼎「スゴイ変態だが元気があってよろしい。だが悲しい事に，遺伝子技術が発達した現代でも彼の夢は叶わない。そう考えると彼の告白も悲壮に思えてくるから不思議だな。エロゲー『EDEN』で心の渇きを癒して頑張りたまえ。では，次回も彼の様な元気な告白を待っているぞ」

ソヨン「…他社の作品を紹介してますよ？」
杏里「いいんじゃない？　触手プレイかぁ，確かに難しいなー」
ソヨン「なんでこっちを見るんですか！
次のコーナーは，貴方の悩みをバッサリ解決『それなりお悩み相談』です！」
杏里「う〜ん……」

■それなりお悩み相談inクローエ■

「初めまして、しのぷと申します。
早速ですが、私には妹がいます。いえ、妹といっても、脳内妹ではなく、ましてや妹と名前を付けたザリガニを飼っているわけでもありません。生身の人間ですよ。最近、その妹に彼氏ができたようなのです。正直言って、ちょっと心配なのです。そこで、兄妹問題に造詣が深そうなクローエさんに質問です。彼氏が出来た妹に対する兄の理想的な態度とはどのようにすればいいのでしょうか？　それでは失礼いたします」（PNしのぷ）

クローエ「気付かないふりしてほっときなさい，中途半端な干渉はお互いにとって不幸よ」

ソヨン「って，それだけ！？　しかも，普通の解答ですよ」
杏里「クローエらしいよね。大丈夫，こんな事もあろうかと別の人にも解答を聞いておいたよ」

アン「いつもの三倍は服用するのが理想的♪」

杏里「アンシャーリーらしいよね」
ソヨン「……もういいです。しのぷさん投稿ありがとうございました」
杏里「みんなからの相談待ってるよ！」
ソヨン「もう，二度と来ない気が……イヤ！
がんばるですよ！　さあ，最後はペンネーム，ドドさんからの一般投稿です」

「イライザさんへ　ヘレナさんと杏里に関するシークレットを公開して下さい」
（PN　ドド）

杏里「どう？　イライザ」
イライザ「困りましたわ。お仕えしている方々の秘密を喋りますのは職業倫理に反します」
杏里「ボクは別に構わないよ」
イライザ「そうですか？　では……お二人はお揃いの下着をお持ちです。確か杏里様のプレゼントでございましたわ。ヘレナ様はこれを宝物のように大事にして，時々こっそりと身につけては楽しそうにしておられます」
杏里「そうなの？　ボクと会う時は身につけて来てくれないのに〜」
イライザ「可愛い意地っ張りですわ」
杏里「うん，ラブリー」
ソヨン「本当に色んな事をご存知なんですね」
イライザ「ふふふ，滅多に喋ったりはしませんわ。ご安心をソヨン様」
ソヨン「……あ，ありがとうございました」

杏里「さあて，紙面も投稿も尽きたね。投稿が採用された人には1ニニコルの貯金をしておくね」
ソヨン「貯まるときっと良い事ありますのでお楽しみに！　アンニョンヒゲセヨ〜」

●投稿募集　〆切・宛先は奥付をみてね
『カミングアウト宣言』係／『それなりお悩み相談』係／『サフィズム普通投稿』係
投稿はメールでも受けつけています。

『ポーラースター公式体操着』
by K.TEN
さて、本編にでてこなかった設定をちょっとづつ紹介するこのコーナー
リクエスト募集中です
（イラストでもOK）
ベレー帽とフード付ベスト、スパッツが特徴です。ボーイッシュな人以外には酷なデザイン…
せま…
あ
おは…よ…杏里…
さてと…
Wachet auf, ruft uns die Stimme
……

『制服チェンジ（タイムスリップ？）大会〜』
以前描いて、しばらく忘れていたんですが、BBSを見て掲載を決断しました。ファーストのクローエ、ヘレナ、セカンドになって少し前進のニキ、サードになって何故かやさぐれる杏里とか…かなえさん….(妄想)
ファーストの杏里も描いたけど、ちびと大差なかったので省略。
今回はここまで、オールヴォワール
(01.11.10)

特報！　ラブネゴシエイター2、開発決定か！

●今度は魔法少女もの？

　ラブネゴで活躍した岡田勇気の生まれ変わり，根越勇希子（ネゴシ・ユキコ）は、ふたば幼稚園年中組に通う、ごく普通の女の子。だけどひとたびピンチが訪れると，魔法の力で伝説のネゴシエイター『根越栄太（37歳）』に変身しちゃうんだ。
　根越栄太に変身すると、勇希子たんは、おやじ臭いハードボイルドマニアの甲斐性なしになっちゃうけど，そのかわりに愛の力で交渉する恋愛交渉術が使えるぞ。
　幼稚園が舞台ということで，敵も味方も全部幼稚園児。果たして勇希子は，親友二人と一緒に，ふたば幼稚園に迫る幼女忍者や幼女人妻をネゴシエイトすることができるのか。

○根越勇希子（元幽霊／４歳）

　前作では岡田勇気という名前で幽霊をやっていた彼女だが，まぁとにかくいろいろあって（どんな風にいろいろあったのかは，好評発売中の不条理ネゴベンチャー『ラブネゴシエイター』をプレイして，確かめてください）転生に成功。一から人生をやり直すことになった彼女は，本作品で魔法の恋愛交渉人として活躍することになる。
　ちなみに，前作のセーブデータがあれば『ラブネゴシエイター』の主人公と肉体関係を結んだキャラクター（滝みゆき／北村はるか／明石亜美／桜井さちえ／日向一重／ジム・リード）から，母親を自由に選ぶことができるぞ。
「だからあたしはもう大人だって言ってるでしょ！」
「あのバカ、いつになったら帰って来るんだろう。ホントに父親の自覚あるのかなぁ」

○エイタ（勇希子が持ってるウサギ）

　現在世界を放浪中の父親，根越栄太が送ってきた謎の生命体。
　声は速水奨（編注：出演妄想中です。文章は実際の製品と異なる場合があります）。彼のいた世界では，とてもダンディなナイスガイ，らしい。
　勇希子は彼のダンディパワーで，魔法の恋愛交渉人に変身する。
「──辛いなら泣いてもいいんだぜ、おチビちゃん」

○間宮いらこ

　勇希子と同じ，ふたば幼稚園年中組にかよう女の子。いつもポケットにお菓子を入れていて，何かあると人に食べるように勧める癖がある。
　勇希とは友達で，いつも一緒に行動している。というか，いらこには男女の差がまだわかってないところがあって，勇希子に淡い恋心を抱いているのだが。
「あたしねぇ、大きくなったら勇希ちゃんのお嫁さんになるんだぁ」
「わかった、よーするに勇希ちゃんは、お腹が空いてるんだね」

○秋月はるな

　勇希子と同じ，ふたば幼稚園年中組に通う女の子。いらことは幼なじみ，まぁ今でも幼いんですが，家が隣同士なので，生まれた頃からずっと一緒だった。
　歳の離れた兄弟がいるためか，ちょっと大人びたところがある。
　曲がったことが嫌いで「ちゃんと～しなさい」が口癖。見境無しに注意するのは問題だが。
「もう、みんな子供なんだからぁ。ちゃんとお片づけしなきゃダメでしょ」
「おじさん、タバコを道端にポイしちゃいけないんだよ！ちゃんと拾いなさい！」

○戦闘幼生くのいち雪風

　ふたば幼稚園に隠された謎を追ってやってきた，謎のくのいち。
　まだまだ全然修行中，というか生まれたての身だが，木を隠すには森の中，ということで特に抜擢された幼女のスペシャリストである。
「風下に立ったのが、勇希子ちゃんたちの不運だよ」
「え？　このへん麻の木植えちゃダメなの？そんなぁ。毎日飛ばなきゃパパに怒られちゃうよぉ」

ぷちねごしえいたぁ
PETIT NEGOTIATOR

●開発者インタビュー／『ぷちねご』開発主任・天野佑一

■七作目はライアー初の続き物？

勇気「全国一千万のラブネゴファンのみなさん、こんにちわ。ラブネゴで幽霊やってる岡田勇気です。あたしは今、ライアーソフト開発室に来ています。なんかラブネゴの続編が出るって噂があるんだけど——腐り姫の開発が佳境に入っていて、みなさんそんな事してる余裕はなさそうだねぇ。やっぱガセなのかな？　あそこで一人余されてる、ロリコンハードボイルド製作委員会会長の天野佑一さんにお話を聞いてみましょう」

天野「あ、ども。天野っす」

勇気「ズバリ聞きますが，ラブネゴの続編が出るって言うのは本当なんでしょうか」

天野「ホントっす。もうアンボイナ・アフロライドさんにもキャラクターデザインをお願いしてます。ちなみに、今度の主役は岡田勇気さん，あなたですよ」

勇気「え，ホントに！　続編って事は，前作よりも後の時代の話なんだよね。てことは，あたしももう『ふくらみかけ』じゃなくて，亜美さんやさちえさんみたいな『大人の女』に——」

天野「ちなみに、デザインはこれです」（ラフを見せる）

勇気「——なってない。全然ふくらむまえだ……」

天野「あなたが現世に戻ってから５年後、と言う設定ですからね」

勇気「あんたねぇ，現世に戻ってから５年って，それじゃああたしまだ5歳じゃない！　ただでさえロリコンハードボイルドだってのに，これ以上幼くしてどうすんのよ！」

天野「なに言ってるんですか。ボクに言わせれば，ラブネゴはまだまだ全然アダルトっすよ。常にロリの高みを目指し続けるボクとしては，ラブネゴ程度の幼さでロリコンハードボイルドと呼ばれるのは我慢がならんっす。今度の続編では本当のロリとは何かを，全国のアダルトゲームファンに教育してやるつもりっす！」

■これが「ぷちねご」の特徴だ

勇気「……怖いので話を進めましょう。このゲームの特徴を教えてください」

天野「この企画には，大きくわけて２つの特徴があるっす」

勇気「お，ようやく新作発表らしくなってきたね」

天野「まず一つ目は，女の子の年齢です。みんな数字１つで表すことができます。タイトルも『ぷち・ねごしえいたぁ』に変更してみました」

勇気「数字１つでって，つまり１桁って事？」

天野「当然ですよ。ちなみに企画ではさらに続編を出すことが決まっていまして，そちらのタイトルは『みに・ねごしえいたー』にしようかと」

勇気「あんたねぇ。狂犬じゃないんだから，そうやってむやみにケンカ売るのやめなさいよ。広報の人，泣いてたよ」

天野「えー？　ボクはただ，お友達になりたかっただけなのになぁ。だってチビッコビルですよ，チビッコビル。いいなぁ，そこならいくらでも徹夜できますよ」

勇気「——もういいよ。で，他の特徴ってなに？　あとひとつあるんでしょ？」

天野「ええ？　もう少し話したいんだけどなぁ。まぁいいや。他にはハンドスピーカー型マイクが標準装備されます。マイクを使うことで，よりリアルなネゴシエイトが楽しめるんですよ」

勇気「あ，それすごいじゃん！　シーマンとか，ピカチュウげんきでちゅうみたいな感じになるんだね」

天野「ええ。クリアする頃には、完璧に幼女が口説ける身体になっていること請け合いです」

勇気「やっぱり幼女なのか……」

■敵はソフ倫！

勇気「うーん。でもこの企画，ソフ倫が黙ってないんじゃないかなぁ」

天野「ソフ倫？　ははは，小さい，小さいなぁ。我々は世界を相手に商売してるんですよ。ソフ倫ごとき，どうして気を遣う必要がありますか。もっとも，流通経路をファンクラブの通販限定にして，ソフ倫の追求をかわすつもりではいますが——ただ，この企画にはひとつだけ問題がありまして」

勇気「ひとつだけ？」

天野「まだこれ，企画会議通ってないんですよね。あなた，この企画通ると思います？」

勇気「だめだこりゃ。それじゃあ，次回はボツ企画列伝のコーナーでお会いしましょう。さようなら」

天野「いけると思うんだけどなぁ……」

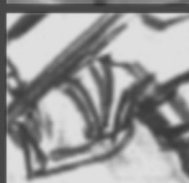
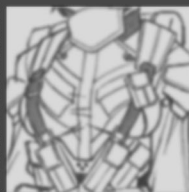
◀「お前の過去を知っている」球玉さん

天野「うう。人の古傷を……。浩子は違うけど，今度機会があったら，必ず入れてみましょう，裸割烹着」

■新作制作会議マル秘議事録

T「計画の進行具合は？」
A「すでに予定の20%をクリア、順調です。1時間もかけて山を登った甲斐がありますね」
T「うおお、PS2さえなければ……」
A「筋肉痛ですか。それよりこれですけど？」
T「戦車が投げるんだから鉄だろ。問題でも？」
A「キャッチャーが死にます」
T「大丈夫だよ、ロボだから」
A「30センチですよ！？」
T「それよりルートだ。東京ドームを破壊して、名古屋ドームを蹴散らし、甲子園球場で最終決戦を……どうした？」
A「横浜はどうするんですか！」
T「……忘れてた」
A「いかんですよ、それじゃ」
T「わかった、じゃあこれは後回しにしよう。アニメゲリラは？」
A「やはりモ子ちゃん萌え～、ですかね」
T「『羽根がないっ、フェラリオじゃない！』とか怒りだしたりしてな、ははは」
A「フェラリオ知ってるんですか？」
T「伝説に残ってるだろ」
A「DVDって百年もつんですかねぇ？」
T「それよりデッキがもたないよ」
A「電気は」
T「原子力だ。メンテなし」
A「こわいですね」
T「そんなもんさ」
A「――あっ！」
T「え？」
A「………………」
T「………………」
A「………………」
T「……大きくなったぞ」
A「誰も驚きませんよ。どういうことですか！？」
T「驚いたのライバルだけだ。割り切り方としてはすごいな」
A「もうこうなっちゃうと、作品的に意味ないんじゃありませんか」
T「じゃあ俺の1時間の苦闘は！？」
A「サウナでも入ってくださいよ。あ、ビール余ってますよ？」
T「いま飲むと寝るか吐くぞ。でも飲む」
A「ところでシャアはダメですか」
T「わかりやすすぎるよ。もっと高度なパロディにしないと」
A「パクリに高度もへったくれもないでしょう」
T「そうだな。でもコレに関しては問題なさそうだ」
A「そうですね。『パクリだ！』とか言ってこられても反論できそうですね。つーか、気にしないでいいということがわかりました」
T「それが唯一の収穫かい」
A「でもそっちは面白そうですよ」
T「だめだめ、もう呂布死ぬもん。秀吉を信じないからこうなる」
A「頭わるいですからね」
T「――おっ！」
A「え？」
T「………………」
A「………………」
T「………………」
A「幼稚園ですらブルマーは衰退の道をたどってるんですね」
T「さっき映ってた、どっかの小学校では健在だったみたいだぞ」
A「ところでこの番組、誰が見るんでしょうねえ」
T「俺たちみたいなのが見るんだろ」
A「切ないっス」
T「………………」
A「………………」
T「………………」
A「いけない、いけない、仕事しなければ。バナナワニの闘士と砂丘の戦士って、どっちが強いんですか」
T「砂丘の戦士は自爆だろ。バナナワニはワニあるかぎり負けないさ」
A「でも、ひなの祖父さんに負けたんですよね」
T「うーん……そうだ、温泉をおさえられた……というのは？」
A「なるほど、冬に……！」
T「うん、これでまとまりそうだぞ」
A「あとはタイトルですか」
T「コードネームは、『ピンク・パンツァー』だな」
A「ピンクの象の活躍が楽しみですね」
T「よし、これを記念して徳造丸へ飲みに行こう」
A「いいですね、伊勢エビ食いましょう」

2001年11月10日・伊豆熱川某所にて録音

LiarSoftの最新作
『ピンク・パンツァー』
制作快調！　乞うご期待！？

CROSSOVER THE LIARWORLD
ファンタジーライアーRPG
FANTASY LIAR

■あらすじ

あなたのソフトハウスは未開拓のユーザーが眠る街へとたどり着きました。そこはエロゲー島と呼ばれています。しかし、あなたはただ一人の発見者ではありませんでした。エロゲー船窓が始まったのです！　ショップチェーンを展開して、島のユーザー独占を目指してください。

■登場キャラクター

「“ゼウスリーダー”誠司」ちょ～イタ／げっちゅ屋／盗賊に盗まれた資源を１／２の確率で横取りする

「土方歳江」行殺新選組／とらのあな／資源カードが３枚以下の時、誰かから１Ｄ６枚押し借りできる

「Ｂ（レオナ６６）」ぶるまー2000／ソフマップ／ぶるまー７枚でジャイアントブルマを召喚、ショップを破壊する

「ヘレナ・ブルリューカ」サフィズムの舷窓／ＵＮＩＴ／盗賊による被害を１／２の確率で無効化する

「根越栄太」ラブ・ネゴシエイター／メッセサンオー／ネゴバトルで常に＋２修正

※カタンは９５年のドイツゲーム大賞に輝いた名作です。
※店名は雰囲気作りが目的で深い意味はないデス。本当に。

GM：「今回は中村哲也さんがゲストです」
中村：「借りるぞ、借りまくるぞ～（土方担当）」
GM：「今回は私もプレイヤーやります、というかGMいらないし」
誠司：「じゃあ初期配置～」

■第１ラウンド

土方：「私からか……（D……はダイスを振るってことで）１０。資源が２種手に入ったが、することはない」
ヘレナ：「（D）６。ゲームカード引きます」

【資源が獲得できるときには同時にゲームカードを引く。いきなり土方さん忘れてけど】

ヘレナ：「『**【サフィズムの舷窓】資源：ボゲードン２【ヘレナ】パッケージを間違って買う客が？【投稿者：夢十夜】**』。この【ヘレナ】って？」
GM：「ヘレナさんが使うと資源価値が２倍になります」
ヘレナ：「了解、次どうぞ」
根越：「俺か。（D）４ゾロだ」

【ゾロ目の場合は資源獲得の前にイベントカードを引く】

根越：「『**【アクシデント】例の法案が施行されロリゲーの売り上げが著しく低下する。自分より年下のオーナーに１枚ずつ資源カードをあげる【投稿者：宇宙クラゲ】**』……がーん」

【イベントの結果はよいものとは限らない】

Ｂ：「ありがとう（年下はこの人だけ）」
根越：「で、次はゲームカード。『**【発情カルテ】資源：ブルマ１【Ｂ】人のふんどしで相撲をとる。今回の両隣りの人の収入を根こそぎもらえます【投稿者：クソムシ】**』」
誠司：「ないぞ」

ヘレナ：「あるわよ」
根越：「寄越せー」
ヘレナ：「非道い！」
誠司：「俺か。（D）９。俺は取れないのでカードは無し。煙草と灰皿を払って行列を伸ばすぞ」

Ｂ：「私だ。（D）９。関係ない。資源が余るのでコストを払ってイベントを引こう」
誠司：「いきなりだな」
Ｂ：「『**【那霧清香】『脱衣の波動』に目覚めた清香に襲われる。自分とランダムに１人と『バトルスキンパニック』を持つオーナーが２回休み【投稿者：ＹＴＳ】**』……（D）誠司さんも２回休みだ」
誠司：「迷惑だ」
Ｂ：「このカタン、イベント引く意義が無いな……」

■第２ラウンド

土方：「（D）９。『**【らーじＰｏｎＰｏｎ】資源：煙草１【根越】目をかけていた女性バイトが妊娠。漢気が試されます。１Ｄ６。１～３認知：お祝いに全員から１枚ずつ好きなカード（資源カード以外も）をもらえますが２回休み：。４～６認知しない：不祥事発覚。保有する資源以外のカードを全部捨てます【投稿者：maina】**』……（D）３だから」
Ｂ：「これで３人が２回休みだな」
ヘレナ：「（D）８。『**【らーじＰＯＮＰＯＮ】資源：灰皿１【誠司】他社の作品まで初回ロット化して流通を頭打ちに。１周するあいだ全員交渉と建設禁止【投稿者：キムン】**』……何もできないので次」

根越：「（D）７だ！」

【ライアーカタンでは７が出ると『違法コピーが横行』する……嫌なルールだ】

根越：「８枚以上の人……俺だけかよ。とりあえず半分盗まれる……」
誠司：「その資源**【横取り】**するぞ。（D）よし、成功！　違法コピーさんありがとう！」
B：「ろくでもない発言をするな」
誠司・B：「休み～」

■第３ラウンド

土方：「休み」
ヘレナ：「（D）５。『**【Theガッツ３～山でガッツ～】資源：ブルマ１**』。これは集めると良いことが？」
B：「最大ガッツカか？」
誠司：「そんなものはない」
ヘレナ：「資源が余って危ないので交渉するわ。土方さん、灰皿あげるから煙草を下さい」
土方：「良かろう」
ヘレナ：「やった。じゃあこれで行列を作ります」
根越：「（D）４。『**【Phantom】資源：煙草１【根越】実弾も撃てる超リアルなモデルガンの初回特典で話題に。今回得る資源を１種１枚ずつ多く得られます【投稿者：Jr.】**』。早速使って行列を伸ばす」
誠司：「休み～」
B：「（D）４。『**【学園ソドム】資源：餅１**』」

■第４ラウンド

土方：「（D）１０。収入無し。行列を伸ばしておこう。ついでにヘレナ、餅と灰皿を交換してくれ」
ヘレナ：「いいですよ」
土方：「とりあえずそれだけ」
ヘレナ：「（D）５。『**【Theガッツ２～海でガッツ～】資源：餅１**』。着々と……」
根越：「（D）３。収入無し。土方さん、餅とぶるまを交換しよう」
土方：「仕方ない」
B：「ネゴバトルがあるからなあ」
誠司：「（D）９。収入無し。行列を伸ばして……残りのカードで新店舗を建てる、更に１号店を増築」
B：「凄いな、伊達にCD買ってない。私は（D）３。収入無し。ぶるま７枚は遠いな……」

■第５ラウンド

土方：「（D）５ゾロ。『**【アイーシャ】さびしがりや。違法コピー者を、２～３店のショップが建つマスへ移動【投稿者：夢十夜】**』。あっち行け。ついでに行列を作る」

ヘレナ：「（D）２ゾロ。『**ソフ倫シール**』」

【シールは違法コピー者を撤去するのに使えるほか、３枚以上溜めると『最大ソフ倫力』で２勝利ポイントとなる】

ヘレナ：「とりあえず取っておいて、行列を伸ばす」
根越：「（D）５ゾロ。『**ソフ倫シール**』」
誠司：「（D）４ゾロ。『**【初回特典“等身大立てカン”】このカードを場に出すと、即座に行列を２つ追加することができます**』。これで最長行列だな」

【行列を５列以上伸ばすと「最長行列」で２勝利ポイントとなる】

B：「げっちゅ屋の支配域が広がる……（D）８。『**【晴れのち大騒ぎ】資源：ボゲードン１**』何もできん」

■第６ラウンド

土方：「（D）７。やっちまった」
ヘレナ：「ガーン、４枚没収～」
誠司：「その資源くれ～、（D）失敗。悔しいからCDかけてやる」
全員：「掛けるな～」
ヘレナ：「（D）８。『**【KANON（全年齢対象版）】資源：なし**』……何の意味が」
根越：「（D）５。することがないぞ」
誠司：「（D）１ゾロ。『**【アクシデント】女子校生誘拐監禁犯が逮捕される。監禁、調教ゲーの風当たりが強くなる。現在動物を飼っているオーナーから１枚ずつ資源カードをもらう【投稿者：宇宙クラゲ】**』」
B：「（誠司に）アンタと私しか飼ってないだろうが」
誠司：「煙草よこせ」
B：「あー、なけなしの資源を～。（D）９。やることないっちゅーねん」

■第７ラウンド

土方：「（D）８。『**【サフィズムの舷窓】資源：ボゲードン１＋１D６モミ【ヘレナ】買ってくれた人にチチをもませてあげる【投稿者：桐島れいと】**』……？？？」
B：「ここは挿し絵が入るから」
誠司：「凄いな、このカードは」
B：「主にインパクトだけだけど」
土方：「列を作って……２枚になっ

だから【押し借り】だ。ヘレナ、寄越せ～」
ヘレナ：「いやー、胸は揉まれるは資源は取られるは……」
土方：「１モミ２モミ３モミ！」
Ｂ：「完全記憶～（ぱっぱっ）」
ヘレナ：「（Ｄ）３ゾロ。『**【アクシデント】Ｈ○ＮＤＡがついに次世代メイドロボを開発。ロボ娘萌えゲーの需要が低下する。運転免許を持っているオーナーから１枚ずつ資源カードをもらう【投稿者：宇宙クラゲ】**』」
土方・根越：「がーん」
根越：「（Ｄ）６ゾロ。『**【ジム・リード】平和な店内がいきなり修羅場に。一面血の海。全員の行列が１つずつ減る。既に１つの場所はそのまま【投稿者：Jr.】**』」
全員：「心底迷惑だ」
誠司：「ああ、最長行列が消えた」
根越：「更に。土方さん、灰皿をくれ」
土方：「来ると思ったぜ、へっへっへ……（と言いながら差し出す）」
ヘレナ：「悪ぶっておきながら（笑）」
土方：「だって嫌だって言っても強奪するもんよ～あの男～」
Ｂ：「この土方さんおもろいなあ」
根越：「で、行列を足して……じゃあＢと【ネゴバトル】」
Ｂ：「（Ｄ）ああ、負けだっ！　ヤダよ～あの男～」
根越：「へっへっへ、悪く思うなよ（笑）」
誠司：「（Ｄ）９。収入無し。土方さん、灰皿をくれ」
土方：「断る。ネゴバトルだ（Ｄ）。くっ、負けた。持っていけ」
誠司：「いただきますよ」
土方：「いただきますとも自由は死せず！」
誠司：「お、土方っぽい？」
Ｂ：「時代が違うがな～（Ｄ）８。『**【ＡＩＲ（全年齢対象版）】資源：なし**』……ゴミだッ」
ヘレナ：「あらあら」
Ｂ：「むう、ヘレナ煙草をくれ」
ヘレナ：「嫌よ、ネゴバトルね（Ｄ）負けたわ～（がっくし）」
Ｂ：「列を伸ばして終わりだ」

■第８～１０ラウンド

【テーマソングの応援を受け（？）一気呵成に店舗を広げるげっちゅ屋……もとい誠司。違法コピー者が出るたびに横取りで確実に資源を増やす。根越もネゴバトルで、土方は押し借りで資源を回し店舗拡張を図るが、差は縮まらない。ヘレナはガッツをコンプリートしたものの進捗は思わしくなく、Ｂはブルマが溜まらずやることがない。そして１０ターン目で遂に誠司が８点到達。手持ちのカードから、次ターンでの上がり濃厚……】

■第１１ラウンド

土方：「うーん、なんとかせんと誠司が逃げ切ってしまう……（Ｄ）８。『**【はっちゃけあやよさん】資源：煙草２【根越】はっちゃけます。水鉄砲と手錠も使います。８色でもがんばります**』……うーん、どうにもならん」
ヘレナ：「（Ｄ）５。せめてぶるまーがあればＢに横流しして壊してもらうんだけど」
Ｂ：「というか多分私の番になる前に終わるぞ」
根越：「俺か……（Ｄ）９。えぇと……」
誠司以外全員：「んー、んー！」

【手番以外の人は交渉できない】

根越：「？？」
ヘレナ：「ンー！（と、自分のソフ倫カードを指す」
根越：「ああなるほど、ってこれじゃ教えてるのと一緒だ（苦笑）。とにかく**【ソフ倫カード】**を２枚使って、違法コピー者を動かし、戻して、誠司からカードを奪う」
誠司：「アウチ。だがまだ出目次第では……（Ｄ）１０」
全員：「あー、ダメだー」
Ｂ：「一番ダメなのがでてしまった」
誠司：「店を２軒建てて……行列と合わせて１０点だ」
全員：「終わった！」
誠司：「ちょ～イタ万歳！　て言うかげっちゅ屋万歳！」

【使われなかったカード】

■当選者発表

【優勝】カタン基本セット＋ライアーカタン
揉みなさい【桐島れいと】

【優秀作】ライアーカタン
寂しがりや、他【夢十夜】
ジム・リード、他【Jr.】
カード案多数【宇宙クラゲ】

ファンタジーライアー新シリーズ！

勢力争いに勝利して、ファンクラブCDの方向性を決めろ！

ライアーファンクラブで、ファン感謝ゲームを作ることになりました。
それはいいのですが、スタッフ個々人の主張が強すぎて、ゲームの方向性がさっぱり決まりません。
今、候補にあがっているのは**「バカ」「シリアス」**そして**「ロリ」**の三種類。
この三つの陣営が、ライアースタッフの共同妄想の中で覇権を争っています。共同妄想の中で、一番強い勢力になれば、その方向性のCDが作られる事になります。
といっても、現時点では、リーダー以外存在しないので、覇権を握るには、まず他のライアーキャラを何とかして自陣営に引き込んで、勢力を拡大しなくてはなりません。
果たしてライアーファンクラブCDの方向性はどうなってしまうのか。それは全て、みなさんの投稿にかかっているのです。

■陣営紹介■

シリアス

リーダー：土方（行殺☆新選組）
「シリアスに死ぬか、切腹で死ぬか、選べ！」

当陣営では、以下の条件に当てはまる人材を募集している。
・カリスマのある人物
・戦える人間

バカ

リーダー：あゆみ（ぶるまー2000）
「わたし、バカだけどがんばるよーっ！」

ばかじんえいでは、こんな人をぼしゅーしています。
・あたまのいい人（せめて字が読める人）
・けんこうてきで、がんばる人

ロリ

リーダー：将太郎（ラブネゴシエイター）
「ふくらみかけこそ最高だ！ 私をおじさまと呼んでくれ！」

我々が求めているのは、以下のようなキャラクターだ。
・幼い少女
・スレンダーな女性

○投稿方法

他のライアーキャラクターのうち、引き込みたい人の名前を書いて下さい。
また、もしあれば、その方法もお願いします。キャラクターの指名が重なった場合、投稿用紙に記入された方法によって、どの陣営に行くか決定する事になります。
投稿はハガキ・封書またはライアーホームページの投稿フォームから受け付けております。宛先・〆切はP26の投稿要項を参照してね。

○記入例

応援する陣営：バカ　　引き込みたいキャラクター：杏里・アンリエットさん
方法（あれば）：あの人は、わたしと違ってホンモノだから、ぜひ仲間になって欲しいです。
年下好きらしいから、わたしの年齢を伝えればイチコロじゃないかなぁ。

LIARMENS CEMETARY ライアー没企画列伝

光あるところに闇は生じる。これは逃れることのできない自然の摂理というものだ。
「ちょ〜イタ」「行殺☆新選組」「ぷるまー２０００」「サフィズムの舷窓」「ラブ・ネゴシエイター」と輝かしい経歴を残してきた諸君の愛するライアーソフトにも、当然、けして光の射さぬ暗部が存在するのだ。

今、その地の底を、永きにわたって閉ざされ続けたヴェールを切り払って、明らかにしよう。絶望の中であえぐだけの者達に、今一度、陽の光を投げかけよう。

甦るがいい！　辺土の深きで呪詛の声をあげ続ける、ボツ企画達よ！

抵抗勢力からの圧力により、めでたく減ページとなりました。というより、よりによって社会鍋と同居らしいです。まさに、社内鼻つまみなページになりそうです。では、さっそくとれたての没企画をご紹介。

タイトル『魔法のペン』

概要：メーヴ●を操るナ●シカはパンツをはいてないのでは？
「現在の科学技術では、ヒロインのお持ち帰りなど、Ａ松先生のパソコンに雷が落ちない限り無理なわけですが、（中略）あたかもプレイヤーとヒロインが恋愛関係にあるような錯覚を起こすようなシナリオづくりを目指します」（抜粋）
ストーリー概要：マンガを描くことだけが取り柄の主人公が下校途中にそのペンで描いた作品世界に入って、空から降ってきた少女を以下略、少女の宅急便を以下略、王蟲の大群を以下略。猫バスが走ってきて以下略。

……なんか、このコーナーが初めて、さらし者目的で進行している気がします。では、企画発案者、前に出なさい。

Ａ野「勘弁してほしいっスよー。どうしてこの企画が没なんですか？」
　正気か、お前。
Ａ野「ライアーのみんなはＭ崎アニメ観てないんですか？　まったくわかってないッスねー」
　とりあえず、黙れ。許可があるまで発言するな。
Ａ野「センチ観てないんスかー？全国映画館で大好評ッスよー」
　その略し方、やめれ。
Ａ野「邦画史上最高の成績ッスよ？
　タイタニック目じゃないッスよ。日本の誇る最高のアニメッスよ。このムーブメントを取り入れないなんて、クリエイターとして問題あるんじゃないッスか？」
　頼む、黙ってくれ。
Ａ野「腹掛け最高ッス。とりあえず、萌えとけ、ハァハァ」
　お前、帰れ。帰ってくれ。

どうやら、時流の流れから、次回のこのコーナーは１／４ページかもしれません。とりあえず、スペースがもらえる限り、読者の皆様には、ライアー取れたて荒採りな没企画をお届けしたいものです。それでは、また、次回。地獄の釜の底でお会いしましょう。

COOK DE MORAIMONO ライアー社会鍋 MONJA

古来以下略―――

主な材料
【サーロインステーキ／ゴーヤー／ピレネー／神戸パンダサブレ／餃子の皮／ニラ／合挽き肉／いわしつみれ／デミグラスヌードル／草加せんべい／ピータン／蟹缶／なめこ／納豆】

■いきなり２０面ダイス
【調理法決定表】

01　生　　02　煮る
03　焼く　　04　揚げる
05〜11　餃子　　12〜19　もんじゃ
20　天京院

登山「振るぞ……４だ」
　めでたく減ページなったのでサクサク進行で。結果は「揚げる」。材料と相談の結果「柵切り肉を色んな衣で揚げる」「揚げ餃子」の二本立て。
睦月「砕いて〜、砕いて〜」
やんばる「練って〜、練って〜」
睦月「揚げて〜、揚げて〜」
やんばる「疲れた、天野代わって〜」
天野「うっす。練って〜、練って〜。餃子って作ったことないんスけど」
やんばる「包むだけだ。簡単、簡単」
　下ごしらえに数十分、そして後はひたすら睦月が揚げる、揚げる。

登山「うまそうじゃん」
睦月「どんどん食べておくれやす〜」
しまさら「もぐもぐ…ラーメンは意外にうまいなあ」
登山「もぐもぐ…サブレはヤバイなあ」
睦月「餃子も揚がったよ〜」
めてお「もっとカリカリにしておくれ」
天野「！……！！！（生のつみれを食して厠にダッシュ）」
やんばる「この『いわしつみれの納豆揚げ』は凶悪だね」
睦月「ちょっとチョコサブレが混じってるところが素敵だよね」

■コーナー存続はキミの手に！
　企画４度目にして「普通に美味い料理会」になってしまい存続の危機。調理ダイスの内容すら左右するインパクトの食材が求められる。ちなみに、やんばるは次回食材が揃わなければ「イタ飯フルコースパーティ」を開催して、このコーナーを終わらせる所存。負けるな勇士達！

■街の巨匠に感謝
【サーロインステーキ】【せんべい】中村先生提供／**【採れたてゴーヤー】**和泉さん提供**【神戸パンダサブレ】**とうふけーきさん提供／**【餃子の材料一式】**やんばる提供／**【蟹缶】**しまさら提供／**【ピータン】**ａｉｎａ提供／**【デミグラスヌードル】**登山提供／**【ピレネー】**とい天津提供

―――ご提供ありがとうございました。
※今回たくさんいただいた「各地の地酒」は腐り姫マスターアップ後に飲ませていただきます。

※ライアーは食べ物で遊びなさい

行殺❤新選組

人斬り美少女あどべんちゃ～

びじゅあるふぁんぶっく、でました☆

電撃大王で連載したコミックスを全収録しました。もちろんゲーム本編の情報も大充実。全イベントCGを原画・ラフと共に完全公開、秘蔵の設定画も初公開です。裏設定を含むキャラクター完全解析やストーリー攻略はもとよりクイズの全問回答リストまで。付属CDにはムービー、アレンジBGM、幻のプレゼントシナリオも収録。他にも豪華ゲストを迎えてのイラストコーナーあり、書き下ろしシナリオ風小説あり、赤裸々なスタッフ座談会あり。これだけギュウギュウと中身を詰め込んで、お値段たったの2，800円（A4／120P）。買わなきゃソンソン、買わなきゃソンソン。出版元はソフトバンクパブリッシング様。お近くの書店でお求めくださいね☆

(c)2000-2001Liar-soft　ISBNコード：4-7973-1827-9

■キャラフェス　２００１秋レポート

我々がイベントデビューの地に選んだのは、ユウメディア様主催のキャラフェス（DegitalCharacterFestiv-al）。１１月４日に有明ビッグサイトにてしめやかに、そして寒空吹き飛ばす熱気の中、開催されました。

今回イベントに出るにあたり、夏コミで企業ブース居候体験（前号に掲載）を経験した広報の提案は「物販では間が持たない」「金にネタで対抗しろ」の２点。メーカーの資本力できらびやかに見せるのではなく（そもそも無理だけどなー）企画力で差を付ける、ということ。お客さんが帰って「今日のイベントどうだった？」と訊かれた時に「ライアーというメーカーがワケわからんことしとった（※1）」とか語り継いでもらえる、記憶に残る参加の仕方を。企業臭を極力排除（※2）し、会場に祭空間を無理矢理作り出す。実質イベント当週の頭から準備開始。

広報は今回の目玉企画「射的」（※3）の許諾をイベント主催者側に取り、備品の調達に東奔西走。他のスタッフは家内製手工業でディスプレイ用品を作る。当日朝までひぃひぃ言いながら支度を終え、搬入部隊がまずレンタカーで先行。早朝の首都高を東へとドリフト気味に飛ばし（※4）、会場４時間前にビッグサイトに到着。おお、もうかなりの人ですよ。イベントの規模を測りかねていた、というか気にしてなかった（気にしろ）我々はちょっと驚き、ちょっと安心。人が居なくてはただ浮くだけだもんなぁ。やる気充填して搬入、組み立て開始。

１０時半イベント開場。あっと言う間に周りの企業には列ができるが、ウチは限定グッズなぞありゃせんのでだーれも来ない。まったり。一応、こういう所に参加する企業の礼儀として（※5）作ったポスターを通りがかりの人にどんどん渡していく。タダだよ～、タダより怖いものはないよ～。配り終える頃には、「何か変なコトしてるぞ」と聞きつけたお客さんが徐々にブース前に集まり出す。良ぅ来たな～。

やっぱですねー、夜店のアトラクションってのは他人はやってるとすごくやりたくなるんですよ。というわけで、最初は２・３人待ちだった射的列も、「外れ～、残念賞（※6）」「当たり～、Ｂ賞（※7）！」などとテキ屋のおいちゃん（※8）と参加者の一喜一憂の声が、威勢のいい射撃音と交互に響く状況が、徐々に人を呼び込みます。列は増え続け、開場１時間後くらいからは常時３０人が待つ状態が延々賞品切れまで続くことに。会場の雰囲気からは、はっきり差別化が出来たようだとスタッフほくそ笑む。ま、ゲーム系のイベントで関係ないネタで盛り上がるのがどうかはさておき。もう一つの「祭ネタ」、型抜き（※9）も最初はその地味さからあまり挑戦者がいなかったものの、失敗時の悔しさは射的以上で、繰り返しプレイ者が続出。そのうち射的ではその時点で誰も達成していなかった「Ａ賞」達成者がこちらから出ると、一気に白熱。瞬間勝負の射的、持久勝負の型抜きと、ゲーム性のギャップが更にライアー周辺の空気を異様なものに（※10）。

そのうち状況を聞きつけた雑誌社の方や他メーカーの方もチラホラ様子見。皆一様に感心した……というか呆れた様子（※11）。その他にも行殺グッズ販売や、会場でのＦＣ直接入会も行います。いずれの場合も、おまけとして射的を１回遊んで貰うことに。また、ＦＣ会員の方は会員証を提示して貰えればゲームがタダで遊べるサービスもありました（※12）。

２時過ぎになると徐々に目玉商品の品切れを起こしだし、３時にはほぼ打ち止め状態に。いつ来るかと待っていた大悪司も来ず（※13）、ちらかした周辺を掃除して、イベント終了とほぼ同時に撤収して参りました。帰りの道にちょっと（※14）迷ったのは秘密です。

残念だったのは最新作「腐り姫」のムービー。完成が遅れ、イベントの途中に漸くデータを持ったスタッフが到着したものの、会場の熱気にあてられたノートパソコンはその後３０分足らずで熱暴走（※15）。「極めてレアなムービー放映」となってしまいました。見れた人、ちょっと幸運！

今回ほどネタ重視になるかどうかは分かりませんが、割と味を占めたライアーは今後もこういったイベントにちょくちょく参加していく方針です（※16）。これからもよろしくお願いします～。

※1　最高の褒め言葉である　※2　前提から間違ってる　※3　この日のために業者から借りた本物の射的用コルク銃　※4　まさか２０分で着くとは……　※5　なんか出さないと悪い気がする……悪いのか？　※6　残念賞は「土方餅」　※7　Ａ賞が「ソフト」「イラスト色紙」「腐り姫登場権」、Ｂ賞が「歴代販促グッズ好きなの１点」　※8　銃と一緒に業者から派遣されてきた本物さん　※9　意外とマイナー？　でも社内で知らないのは睦月たたら一人だった　※10　周辺の企業の皆様、すみません。次回配置希望で「ライアーから遠く」と書かれないことを祈ります　※11　「テキ屋さん」はその後の調べにより、ライアーのＣＧスタッフであるということが判明しました。記事にした（した？）雑誌の皆様、すんません　※12　告知が足りなくてごめんなさい。それでも１００人近い会員さんが来てくれました　※13　アリスソフトさんの。「大悪司制圧済」と書かれたノボリを他企業に刺して回るステキゲリラ行動。ウチに来たら「射的で成功したら置くけど、失敗したらそっちでウチのデモ流して」と言おうと思ってたのに…　※14　大阪から来たお手伝いさんが危うく帰れなくなるくらい「ちょっと」　※15　ノートって肝心な時絶対役に立たん　※16　今回の内容で出入り禁止にならなければね～。とりあえず次は春頃予定？

Direct shopping for fanclub only.

おみやげ物うりば

How to order your favorite items.

GAMESOFT

１９９９年７月発売のライアーソフト第１弾『ちょ～イタ～素晴らしき超能力人生～』は販売を終了いたしました。現在、追加生産は行っておりません。
『ぶるまー２０００』の市場販売は終了いたしました。現在会員通販のみでお求めいただけます（店頭在庫除く）。

『行殺☆新選組』 GYOSATSU SHINSENGUMI

**ライアーソフト第２弾は
人斬り美少女アドベンチャー』！**

舞台は幕末の京都。幕府転覆を目指し跳梁跋扈する悪のキンノーに対抗すべく敢然と立ち上がった『新選組』！
その新選組に入隊したばかりの主人公は，美少女隊士に囲まれながら，悪を斬り，また悪を斬り，たまには息抜きで温泉にも行ったりしつつ，日夜奮闘を続ける。
無事『池田屋事件』をくぐりぬけることが出来るか？
想いはヒロインへと届くのか？

２０００年４月発売　通販価格　７０４０円

『ぶるまー２０００』 BLOOMERS MILLENNIUM

**ライアーソフトが放つ第３弾は
『ブルマニアックアドベンチャー』！**

すべての発端は，月で発見されたブルマにあった。
偶然から，『神のブルマ』を巡る争いに巻きこまれ，その所有者となった常葉愛。その日から，彼女の平凡な日々は終わりを告げた。
次々とあらわれる敵に，ブルマの力を使って対抗する愛。戦いは激しさを増し，愛はおおいなる意志がその根底に流れていることに気づく。その意思とは，そして愛の身体に隠された秘密とは？

２０００年１０月発売　通販価格　７０４０円

『サフィズムの舷窓』 THE CASE OF H.B.POLARSTAR

**ライアーソフトの第４弾
『耽美推理アドベンチャー』！**

世界最大の豪華客船にして，各国ＶＩＰのお嬢様ばかりを乗せた学園船，Ｈ．Ｂ．ポーラースターで楽しい日々を送っていた，年下好きのレズビアン杏里・アンリエット。平和な学園で突如発生したレイプ事件。学園側に犯人と決めつけられた杏里は，３週間以内に真犯人を発見できなければ，船を降りねばならない。
親友の大天才「天京院 鼎」の協力を得て，杏里は事件究明へと乗り出した。

２００１年５月発売　通販価格　７０４０円

※こちらの製品には，只今通販特典として，Ｈ．Ｂ．ポーラースターを舞台にしたボードゲーム「サフィズムの船窓」がもれなく付いてきます。

『ラブ・ネゴシエイター』 LOVE NEGOTIATOR

**ライアーソフトの第５弾
『不条理ネゴベンチャー』！**

ＡＤ２０３０。舞台は東京湾上に建設された新首都。その片隅に，恋愛交渉人として雑居ビルに事務所をかまえる主人公・根越栄太の前には入れ替わり立ち替わり，愛を知らず，愛に迷い，愛をはき違えた少女達が現れる。
彼女達を説得していくうちに，根越はいつしか，この都市に潜む巨大な陰謀へと巻き込まれていく。次々と起こる事件を縦糸に，根越に関わる女性が横糸として絡み，都市（まち）という巨大な人間模様を織り上げていく。
本格ハードボイルドコメディの幕が開こうとしている。

２００１年９月２８日発売　通販価格　７０４０円

※こちらの製品には，只今通販特典として，キャラクター名刺セットとケース，データＣＤ－ＲＯＭの「ラブネゴ名刺キット」がもれなく付いてきます。

『腐り姫～euthanasia～』 EUTHANASIA

**ライアーソフト最新作！
第６弾は『インモラルホラーＡＤＶ』**

父親と妹が怪死を遂げ，記憶喪失となった主人公は，義母に連れられ，故郷の町へと戻る。そこで主人公　は蔵女（くらめ）と呼ばれる，深紅の着物の少女と出逢う。少女は自分の妹に瓜二つだった。
取り巻く家族や友人たちは，うわべでは彼の回復を望みながらも，罪の意識を心に潜ませている。蔵女はそんな人々の隙に取り入り，甘美な肉欲と狂気を与え，身も心も崩壊させていく。
記憶と現実の境界が揺らぎ，喪失感と，蘇る恐怖との狭間に葛藤しながら，やがて全ての記憶を取り戻し，赤い雪が降り積もるなか，世界が死の静寂に包まれるまでの４日間。

**２００１年２月８日発売予定
通販価格　７０４０円**

※会員の皆様には１月初旬頃までに，通販要項と通販特典に関する情報を，体験版ＣＤと一緒にお送りいたします。

◎通信販売について

ゲームソフトには郵便振替，銀行振込，現金書留がご利用いただけます。

①郵便振替の場合
００１４０－１－６００１８４
加入者名　㈱ビジネスパートナー
※通信欄に希望商品名・配達希望曜日／時間をお書きください。氏名・住所・ＴＥＬも記入欄に必ずお書きください。

②銀行振込の場合
富士銀行　新宿支店　普通口座５４３１１８１
加入者名　㈱ビジネスパートナー
※入金後，控えをＦＡＸまたは郵送で弊社までお送りください。その際，住所・氏名・ＴＥＬ・ご希望の商品名・ご希望の配達曜日／時間をお書き添えください。
【控えの送り先】
（ＦＡＸ）０３－５３６３－５３１８
（郵送）〒162-0067　東京都新宿区富久町16-9
御苑フラワーマンション305号室
Ｌｉａｒ－ｓｏｆｔ『通販』係

③現金書留の場合
※上記の住所まで，現金書留で代金をお送りください。封筒内に氏名・住所・ＴＥＬ・ご希望の商品名，ご希望の配達曜日／時間をお書き添えください。

ゲームソフトは，宅急便の着払いでお送りしております。受け取り時に送料をお支払いください。

BACKNUMBER

月刊うそ。バックナンバー

現在ご購入いただけるのは以下のバックナンバーです。各号とも**1冊400円（税込・送料込）**です。複数冊ご希望の場合は，冊数×４００円お支払いください。

通販は現在，**郵便振替**，**郵便小為替**，または**80円切手**で受け付けております。小為替の場合は，ご購入からなるべく１ヵ月以内のものをお願いします。受取人は無記入にしてください。郵便振替の場合は，通信欄にご希望の号数と冊数を明記してください。為替・切手の送り先は奥付の住所まで。必ずご希望の号数と冊数を明記した紙を同封してください。

只今の在庫状況［◎余裕あり○そこそこ△在庫少▲あと僅か！×在庫なし］

第１号［×］

第２号［×］

第３号［▲］

お申し込みいただきました号の在庫が切れてしまった場合，手数料をお引きした形で代金をお返しいたします。なるべくお申し込み前にメール，電話などで在庫の確認をお願いいたします。

GYOSATSU GOODS

行殺♥新選組

行殺☆新選組グッズ会員優待通販

とらのあな様で好評販売中の行殺☆新選組グッズを会員価格で販売しております。各品とも在庫がかなり少なくなってきています。早い者勝ちですので，どうぞこの機会にお求めください。

※「湯呑み」は完売いたしました。

◎通信販売について

グッズの通販には郵便振替，銀行振込，現金書留，郵便小為替がご利用いただけます。

①郵便振替の場合

００１４０－１－６００１８４　加入者名　㈱ビジネスパートナー
※通信欄に希望商品名をお書きください。会員番号も記入欄に必ずお書きください。

②銀行振込の場合

富士銀行　新宿支店　普通口座５４３１１８１　加入者名　㈱ビジネスパートナー
※入金後，控えをＦＡＸまたは郵送で弊社までお送りください。
その際，会員番号・ご希望の商品名をお書き添えください。
【控えの送り先】
（ＦＡＸ）０３－５３６３－５３１８
（郵送）〒162-0067　東京都新宿区富久町16-9　御苑フラワーマンション305号室
Ｌｉａｒ－ｓｏｆｔ『通販』係

③現金書留の場合

※左記の住所まで，現金書留で代金をお送りください。封筒内に会員番号・ご希望の商品名をお書き添えください。

④為替の場合

※左記の住所まで，郵便小為替で代金をお送りください。ご購入からなるべく１ヵ月以内のものをお願いします。受取人は無記入にしてください。封筒内に会員番号・ご希望の商品名をお書き添えください。

※グッズは，エアパックに入れて普通郵便でお送りいたします。梱包代，送料として３００円追加してください。２個以上の場合は５００円（何個でも一律）追加してください。

トラウマ　仏さんじょ

《お便りの宛先》

〒162-0067　東京都新宿区富久町16-9
御苑フラワーマンション305号
TEL.03-5363-5317　FAX.03-5363-5318
e-mail webmaster@liar.co.jp

各投稿には『ＦＣ投稿・●●係』と
コーナー名を明記してください。

第５号の掲載〆切は１月１８日（金）必着になります。

今回の「同人誌紹介」コーナーは行殺ファンブックに本を多数出したのと、冬コミ前で新刊がほとんど無かったので、１回お休みします。冬コミの新刊お待ちしております。　同人誌紹介担当

ライアーソフトファンクラブ会報
『月刊うそ。』第４号
年４回季刊発行　2001年11月30日発行
発行：（株）ビジネスパートナー　ライアーソフト
編集：山原久稲　デザイン補佐：しまさらゆめき
表紙・４コマ：仏さんじょ
本文カット：K.TEN／八雲剣豪
アンボイナ・アフロライド
印刷：（有）あかつき印刷

NEXT ISSUE

次回（2月下旬発行予定）の『月刊うそ。』はッ！？

・腐り姫発売！　腐ってる街角レポートッ！
・古今東西腐り対決！　ドリアン参戦を巡り社内二文化ッ！
・ワナナバニ……もといバナナワニッ！
・どうして伊豆土産はワサビばっかりなのかッ!?
・相次ぐ新作ラッシュッ！
・自転車操業って言うよりトライアスロン操業ですね。
・ファンブックの増販を掛けて香港へ行こうッ！

今月のドイツのお菓子
うずまき編

この世のモノとは思えないほどマズイ。

会員専用ホームページ
http://www.liar.co.jp/cgi-bin/gate.cgi
ID:member pass:uso800
壁紙データ、専用ボイスなどがダウンロードできます。